

2023.6.14

No. 176

特集号



立科町 議会だより

新議会構成が決まる

選挙後の初議会が5月8日に開催され、議長に今井清議員が、副議長に今井英昭議員が選出されました。その後、令和7年4月29日までの任期となる、常任委員会委員、議会運営委員会委員、一部事務組合議会議員等の構成を決定しました。

就任のあいさつ

議長
今井清



風薫る季節を迎え、町民皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先の臨時会の議長選挙におきまして、私が議長の要職に選出いただきました。その責任の重さに身が引き締まる思いです。この3年間、コロナ感染症の拡大により、日常生活が一変し、経済が大きな打撃を受けました。しかし、コロナ禍の苦しい日常からようやく解放される希望の光が見えてきました。

この間、人とのつながりがどれほど大切なのか、強く認識された機会となりました。これからは、コロナ前の日常を徐々に取り戻すこととなります。議会は、町民皆様の思いを行政に反映させる重要な役割を担っています。皆様に寄り添う議会に

なるために、開かれた議会をめざし、議会の活性化に全力をつくす思いです。議員間の討議を重ね、より良い町政推進のためにまい進したいと考えています。そのためにも町民皆様の温かなご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。希望に満ちた立科町になるよう祈念し、就任の挨拶いたします。

副議長

今井英昭



この度、改選後の初議会において、全議員の皆様のご推挙により副議長に就任（再任）いたしました。この重責を果たすべく、専心努力を重ねてまいります。

議長とともに、議会活動を円滑かつ効率的に運営し、町民の皆様の声を正確に捉えることを着実に実行していきたいと考えています。その上で、負託に応え活力ある議会であるように、議会がワンチームとなり議会の向上を目指した取り組みをしてまいります。それを実現するために、各議員の強みを活かせるような環境整備を考えています。同時に、取り組むべき重要課題に対して、全議員の力を結集することで議会全体として解決していきたいと思っております。

また、あらゆる分野で複雑化している中、行政に対する議会のチェック機能はさらに重要度が増しており、しっかりとその役割も果たしていきたいです。そして、その結果を議会活性化の一環として、町民の皆さまへ一層の情報発信を積極的に行う環境整備も同時に進めていく所存です。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。就任の挨拶いたします。

議会構成

議長 今井 清
副議長 今井 英昭

委員長 芝間 教男
副委員長 秦野 仁美

議員 森澤 文王
議員 宮坂 幸夫
議員 秦野 仁美

議員 今井 清
議員 今井 英昭
議員 榎本 真弓
議員 村田 桂子
議員 森澤 文王
議員 村松 浩喜

常任委員会

◎総務経済常任委員会

総務課・企画課・産業振興課・会計室及び議会事務局の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

委員長 榎本 真弓
副委員長 村田 桂子
委員 芝間 教男
委員 今井 健児

議員 榎本 真弓
議員 秦野 仁美

議員 今井 清
議員 榎本 真弓
議員 秦野 仁美

◎議会運営委員会

議会の運営について、調査・検討をします。

◎白樺湖下水道組合

監査委員

今井 英昭

監事

小野沢常裕

◎佐久市・北佐久郡環境施設組合

委員長 榎本 真弓
副委員長 村田 桂子
委員 芝間 教男
委員 今井 健児

議員 芝間 教男
議員 榎本 真弓

◎消防委員

榎本 真弓
村松 浩喜

一部事務組合

◎佐久広域連合

議員 今井 清
議員 今井 英昭

◎議会だより編集委員会

委員長 村田 桂子
副委員長 小野沢常裕
委員 森澤 文王
委員 芝間 教男

◎北佐久郡老人福祉施設組合

議員 今井 清
議員 芝間 教男

委員 今井 健児
委員 宮坂 幸夫
委員 秦野 仁美

◎社会文教建設常任委員会

町民課・建設環境課及び教育委員会の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

秦野 仁美
(議席1番)



この度の選挙では、町民の皆さまの温かいご支援、ご協力のもと、議席をいただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

皆さまご存じの通り、私は移住者でございます。移住者として、ス

タートラインに立たせていただきました。移住者からみた立科町の魅力を存分に発信して参ります。

また、子ども達が夢を語る自慢のふるさと、住み続けられるような立科町であってほしい。立科町がもっとよくなるために、地域の課題に取り組み、女性・母親目線より細かな声を反映し、母性を携えて町政へ届けていきたいと思っております。大小関わらず気軽にご相談いただける身近な議員でありたい。人との関わり合いを大切にしながら、皆さまで立科町を良くしていくための架け橋になりたいと思っております。お気軽にお声がけをいただけましたら幸いです。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

宮坂 幸夫
(議席2番)



前略、私は立科町議会議員選挙を無投票にしないために立候補を当日のお昼前に決意し、役場へ出向き手続きをしました。しかし、不備の箇所が複数あり、家と行き来して3時過ぎに無事に届け出を完了しました。

公約として①議会・行政・財政の変革②区費・部落費の負担軽減③土地改良区の運営改革④公募を推進する町へ。⑤教育委員会のチーム制を探る。⑥職



員の意識改革・質の向上。などを約束しました。

方法として、人がやらない方法を心して望みました。具体的にお話ししますと三つの無です。①人に頼ら無いで二人で行う②自分からお願ひしますの声を下さ無い③お金をかけ無い この三つです。

選挙戦を戦い、久しぶりに満足感を体感できました。ここからの姿勢が肝要です。今までどおりの日常生活を維持しながら公約達成のため、全力投球します。今後も厳しく見守ってください。

小野沢 常裕

(議席3番)



「どうする?立科町」

農業 若年層の農業離れ・耕作放棄地の広がり
高齢者 後期高齢者の急増・老々介護に独居老人
子ども ますますの少子化・小規模学校での教育

後期高齢者の新人として、この度の町議会議員選挙に自らの判断で立候補いたしました。それは今のままではこの立科町はやがて消滅してしまうと思つたからです。私が選挙戦をおして皆様に訴えてきたことは右に掲げる内容です。

自然が豊かで、水がきれいで、空気が澄んでいる。山もあれば湖もある。観光業には適していると思われませんが、農業に適しているとは思えません。それは平らな土地が少ないため労力が余計にかかってしまい、小中規模の農業では採算が取れないからです。

ではどうしたらいいのでしょうか。農業は大規模に行う人に任せ、他の多くは毎月決まった給料を得る仕事に就く。そして土日の休日は家族揃つていろいろな活動を楽しむ。そんな町を目指して活動していきたいと思つています。

今井 健児

(議席4番)



「お蔭様」という言葉があります。

あらためてこの言葉を深く感じ、2期目の活動も皆様と共に、想いを形にできる行動力を磨き、そして実践し、「けんじに相談して良かった。」と言ってもらえることを実際に増やし、結果、より良い町づくりに繋がる行動をしたと思つています。

今期前半の2年は総務経済常任委員会の委員長として重責を担う立場となり、より深く町づくりに携わる事となります。委員の皆さんと共に、より良い委員会として責務を果たしたいと思つています。

最後に「流れる水は腐らない」
絶えず流れてやまない川の水のように、このいたただいた4年間を大切にしたいと思つています。
今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

芝間 教男

(議席5番)



この度は、皆様の温かいご支援で2期目を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

1期目の4年間は、台風19号などの自然災害・新型コロナウイルス感染症の流行があり、町政もそちらの対応予算が編成され、議会の審議も多くの時間を費やしました。改めて自主

防災組織編成の重要性を認識し、議会でも取り上げて行くとともに、今後は本来の人口減少対策や、農業・観光・産業の維持発展、住みよいまちづくりを目指す論議も積極的に進んで参りたいと思つております。

また、議会として積極的に地域に出向き、皆様のご意見をうかがい、それをわかりやすく議会だよりの誌面に掲載して行けるよう、引き続き議会だより編集にも携わらせていただく事になりました。

更に、この2年間は社会文教建設常任委員長の任をいただきました。今までの経験を活かし、全力で頑張つて参りますので、皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

中村 茂弘

(議席6番)



田植えも始まり花々が咲き、過ぎやすい季節となりましたが皆さんいかがお過ごしですか。

今年も果物も霜に遭い、不作の年になりそうです。米は何とかなりですが、他の野菜等はどうでしょうか。

今後は、観光・福祉・教育などしっかりと進めなければなりません。

長野県は移住希望者が多いことから、立科に住んでもらう努力をして、少しでも人口減少に歯止めをかけなくてはなりません。

道の駅を利用し立科をPRするなど、交流観光に努めなければなりません。
蓼科山をはじめとした知名度をいっそう高めて参りますのでよろしくお願ひいたします。

村松 浩喜
(議席7番)



独特な心の動きだったのででしょうか。

私は4年前の町長選に落選した後、町外の学習塾に就職しました。立科町との関わりはかなり薄くなりましたが、より良い町づくりへの想いは抱き続けていたのです。今回の町議選への出馬を決意して1月末で退職し無職となり、退路を断ちました。そして、この町の現状を知り課題を探るために、様々な所へ出向き多くの方々とお会いしました。

真摯に行政と向き合い判断力と行動力を発揮すること、少ない投資で大きな成果を上げる政策を提案すること、自然や産業を活かし持続可能な町をつくること、教育・文化・歴史を大切にして住む喜びを高めること、町民の皆様との対話を重視することなどを心がけ、今後の議員活動に励んで参ります。

森澤 文王
(議席8番)



葉桜の輝きが増すこの季節に、この度も皆様の温かいご支援の下、当選の栄誉を賜りました事に厚く御礼を申し上げます。

町民の皆様の暮らしやすいまちづくりに向けて、公約にさせていただいた地元産業の活性化、観光・農業の振興、暮らしやす

い生活環境づくり、子育て支援の充実に向けて取り組んで参ります。

これからの4年間は、立科町にとって非常に重要な4年間となります。令和4年より過疎地域に指定され「過疎対策事業債」が活用できる様になった中、今回の選挙に勝利した両角町長が、いよいよ大きく町政を動かして行ける。こういう状況の中での、議会の責任は更に重いものになると考えています。しっかりと町民の皆様の声を行政に届け、行政と力を合わせながら、コロナの前より活力のある立科町を目指して参ります。

また、議会の内部的には議員定数が適正であるかなど議会改革の議論を深めるよう投げかけて参ります。

村田 桂子
(議席9番)



皆さんの大きなご支持をいただき、3期目、働かせていただくこととなりました。

コロナ禍と物価高・年金削減など厳しい暮らしを余儀なくされていらつしやる多くの町民のみなさんに寄り添い、支え、励ます町政をめざして頑張ります。

給食費の無償化がようやく実現、通学用カバンも支給となり喜ばれました。農ん喜村の改修に向け設計監理費が予算化、猫の去勢・不妊手術への補助も始まりました。

今期は、さらなる子育て家庭への経済的支援を強めるとともに、町活性化・町民参加の礎である公共交通の改善に向けて働きます。「免許を返上しても暮らせる」「町外の高校に保護者の送迎をしなくても済むよう」町民のみなさんと力を合わせて運動してまいり

ます。議会の動きをお知らせする広報と共に、町政懇談会など広聴機能強化に努めます。

榎本 真弓
(議席10番)



再度議会へ送り出していただき、誠にありがとうございました。重責である議会運営委員長を拝命し、初心に帰り4年間全力で活動していきます。

議員の指南書である「議員必携」を再読し、議会の地位・議会の使命・議員の職責などを読み直し、認識を強くしました。町民相談の解決に向けた質問や事業提案を今後も積極的に行い、役に立つ議員であり続けたいと決意しています。

立科町は辺地対策事業債や過疎対策事業債を活用できます。特に過疎債はハード事業だけでなくソフト事業も活用でき、これらを有効に使い町の課題を解決する議論を、町民を交えて深めていきたいと考えています。

今期4年間で3つの目標を掲げました。その中でも「地域を元気にするまちづくり」では、観光事業の促進と交流人口を増やす取り組みを目標と掲げました。感染症が収束に向かい、交流も活発化してきました。観光と農業の立科町。議員で得た人脈を大いに活用し、地域経済の拡大に繋がっていきます。今期もよろしくお願いたします。

新緑の輝く季節となりました。議会も新メニューを迎え、より「読みたくなる」紙面づくりに向け、知恵と力を出し合う決意です。
議会だより編集委員長 村田 桂子